



ニュース

2023 年

8

月号

発行日： 2023 年 7 月 30 日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail： mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

かとりっくへいわじゅんかん がつ にち にち おも
カトリック平和旬間(8月6日~15日)に思う

みかさきょうかい しゆにんしさい はまさきまさ み
三笠教会 主任司祭 浜崎眞実



ことし しじゅんせつ つど こうえんかい いちまい しゃしん わだい ねん がつ
今年の四旬節の集いの講演会で一枚の写真が話題になりました。1984年6月の
かとりっくよこすかみかさきょうかい きりすとしゃごうどうへいわしゅうかいご しないでもこうしん しゃしん
カトリック横須賀三笠教会でのキリスト者合同平和集会後の市内デモ行進の写真です。
とまほーくはいびはんたい おうだんまく も にほんきりすと きょうきょうぎかい かんじ
トマホーク配備反対の横断幕を持っているのは、日本キリスト教協議会(NCC)の幹事、
かとりっくせいぎ へいわきょうぎかいたんどう こそうましきょう よこはまきょうくちょう こはまおしきょう とうきょうきょうく
カトリック正義と平和協議会担当の故相馬司教、横浜教区長の故浜尾司教、東京教区の
ふかみずしんが じもとよこすか ぼくし うつ かとりっくせいねんろうどうしやうんどう のほり
深水神父です。地元横須賀の牧師も映っています。JOC(カトリック青年労働者運動)の幟

み みかさきょうかい しんと さんか ひと しゃしん
も見えます。三笠教会の信徒で参加した人もおられるのではないのでしょうか。この写真の
できごと いま やく ねんまえ けつ むかし なつ お
出来事は今から約40年前のことですが、決して昔を懐かしむもので終わってはなりません。
いま み じょうきょう かんが かがみ ねんちか た わたし せいかつ
今を見つめ状況を考える鑑とするものでしょう。40年近く経って、私たちの生活
ちいきよこすか はんかく へいわ ねが とまほーく
している地域横須賀はどうなっているのでしょうか。「反核・平和を願う」「トマホークはいらな
かか おうだんまく いま げんざい にほん か とりっくきょうかい
い」と掲げた横断幕は、今どこにあるのでしょうか。まさに現在の日本のカトリック教会のあり
かた と
方が問われているものではないのでしょうか。

しゃしん ねんまえ せんそう ま ただなか きょうかい とぎ うご
この写真のさらに40年前は戦争の真っ只中です。教会はその時どのような動きをした
せんご だいにう あち かんこうかいぎ ころ まち なか せいたいぎょうれつ しょう
のでしょうか。戦後、第二ヴァチカン公会議の頃までは、街の中を「聖体行列」と称して
で もこうしん おこな みみ ねん とぎ うご
デモ行進も行われていたように耳にしています。2023年という時にはどのような動きをす
るといいのでしょうか。

ねん がつ きょうかいいんかい
2023年 7月の教会委員会
がつ にち にち おこな きょうかいいんかい ほうこく
7月 2日(日)に行われた教会委員会の報告です。

てんれいれき ぎょうじ かつどう
< 典礼暦と行事・活動 >

ふくいんせんきょうぶかい
7月 1日(土)福音宣教部会

ねんかんだい しゅじつ
2日(日)年間第13主日

きょうかいいんかい てんれいぶかい
教会委員会、典礼部会

ねんかんだい しゅじつ
9日(日)年間第14主日

がいこくせき ひとびと ささ みさ
「外国籍の人々とともに捧げるミサ」

ねんかんだい しゅじつ
16日(日)年間第15主日

まな こうざ きゅうやくぜんしょ よ はまさきし
11:00 学びなおし講座「旧約全書を読む」浜崎師

きょうかいがっこう
教会学校

ねんかんだい しゅじつ
23日(日)年間第16主日

えいごみさ
英語ミサ 15:00

きょうかいがっこう か きがっこう
28日(金)教会学校夏期学校

ねんかんだい しゅじつ
30日(日)年間第17主日

ふくいんせんきょうぶかい
8月 5日(土)福音宣 教部会

しゅ へんよう ねんかんだい しゅう きょうかいいいんかいきゅうかい
6日(日)主の変容(年間第18週) 教会委員会休会

しのぎきみ お こ しこうえんかい
12日(土)13:00~15:00 篠崎美生子氏講演会
おんぞん うらかみはんさいせつ
温存される「浦上燦祭説」

せいぼ ひしやうてん ねんかんだい しゅじつ
※13日(日)聖母の被昇天(年間第19主日)

はつせいたい いわ
初聖体、お祝い

ねんかんだい しゅじつ
20日(日)年間第20主日

まな こうざ きゅうやくぜんしよ よ はまさきし
11:00 学びなおし講座「旧約全書を読む」浜崎師

ねんかんだい しゅじつ
27日(日)年間第21主日

えいごみさ
15:00 英語ミサ

てんれいれき がつ にち せいぼ ひしやうてん さい にち にち まえだお ひ
※典礼暦では8月15日が聖母の被昇天(祭)ですが、13日(日)に前倒しをし、その日に
はつせいたい むか こ いわ きょうかい しゅごせいじん げんみつ がつ にち むげんざい
初聖体を迎えるお子さんのお祝いと、教会の守護聖人(厳密には12月8日の無原罪の
おんやど せいぼまりあ ひ いわ れいねん しゅうかいしつ おこな みな あつ
御宿り)の聖母マリアの日のお祝いを、例年のように集会室で行います。皆さん、お集まり
ください。

た そうぎみさ かぞくそう れんらくほうほう
その他 ・葬儀ミサ(家族葬)の連絡方法について
ぼち かんりいいんかい ほうこく
・墓地管理委員会からの報告
のうこつどううら ざっそうぼうししーと せっちず
納骨堂裏の雑草防止シートの設置済み

じかいきょうかいいいんかい がつ にち にち
次回教会委員会 9月 3日(日) 11:15

か とり っ く しんぶんがかり し
カトリック新聞係からのお知らせ

か とり っ く しんぶんがかり
カトリック新聞係

がつ か とり っ く しんぶんこうどくこうしんつき がつちゅう しゅじつみさ ぜんご
8月 は、カトリック新聞購読更新月になりますので、8月中の主日ミサの前後に
こうどくりょう はらいこ しんきこうどくもうしこ どう てつづ
購読料の払込み、新規購読申込み等の手続きをいたします。

こうどく ちゅうし ばあい がつちゅう もうしで
購読を中止される場合は、8月中にお申出ください。

こうどくりょういっかつはらいこ ともな しんぶんしゃ てすうりょう まん せんえん みかさきょうかい きふ
なお、購読料一括払込みに伴う新聞社からの手数料(3万5千円)を三笠教会へ寄付
し
しましたので、お知らせいたします。

福音宣教部会から

教皇フランシスコは、私たちに「出かける教会になろう」「共に歩む教会になろう」と呼びかけていらっしゃいます。これらの招きに、三笠教会として、また私たちがそれぞれが、どのように応えることができるのでしょうか…福音宣教部会では、今なにができるのかを考え、探し続けています。

◇7月の第一土曜日、部会の集まりでの浜崎神父のお話から、2つをご紹介します。

①6月23日は、慰霊の日でした。78年前、第二次世界大戦末期の沖縄では、9万4千人もの民間人が巻き込まれて命を落としたそうです。

この日行われた沖縄全戦没者追悼式での、玉城デニー県知事による平和宣言と、岸田首相あいさつ全文を、新聞記事から読みました。

首相あいさつでは、『今の平和と繁栄は、戦没者の「尊い犠牲」の上にある』といういつものフレーズが繰り返されています。亡くなった方々が抱いたであろう悲しみや無念さは取り去られ、その死は美化されているように感じました。

一方の玉城知事の平和宣言では、『「平和」とは、戦争や紛争のない状態にとどまらず、貧困、暴力、人権の抑圧、差別、環境破壊などが無い、安らかで豊かな状態』と、ガルトウング（ノルウェーの社会学者）の唱える「積極的平和」を引用していました。くに沖縄県を代表するお二人の、とても対照的な言葉でした。

②次は、コロナ禍に関して、です。

法制度の推移を見ると、日本の感染症対策は、初め社会防衛（隔離）に重点を置いていましたが、やがて患者の人権に配慮しつつ医療を提供する、というように発想が大きく変わっています。でもコロナ禍のこの3年ほどを思い返すと、前述の流れに逆らうように、「人権」は二の次でも仕方ない、と私たちの大多数が社会防衛のために突っ走っていた時期があったように思います。

今、改めて「人権」の視点から、コロナを振り返ることが必要ではないか、問われています。

◇8月に福音宣教部会で計画している予定は、以下の通りです。

●講座 今年度の講座が6月から始まっています。興味がある方、一度覗いてみてください。

8月20日(日)午前11時「旧約全書を読む」(浜崎神父)@集会室

8月27日(日)午前9時「マルコ福音書を読む」(名生さん)@会議室

●講演会 8月12日(土)に、三笠教会の聖堂で講演会があります。

基地の街ヨコスカで平和について考える講演会

原爆死の意味づけと戦後天皇制をめぐって

日時: 8月12日(土)午後1時より午後3時

講師: 篠崎美生子さん(明治学院教育センター教授)

内容: 温存される「浦上燔祭説」

…長崎の原爆摂理説をめぐって…

差別されてきた歴史がある上、さらに「原子爆弾は天罰」と言われ、被曝と差別の二重の苦

しみを負う浦上の信徒に向けて、長崎の鐘で知られる永井隆氏は、「原爆は、罰ではなくて

神の摂理」と語りました。

慰め・励ましのための言葉だったかもしれませんが、これに影響された信徒の中には、

被曝を自らの宿命と捉え一切を語らなくなった方もいて、1981年に来日した教皇

ヨハネ・パウロ2世の「戦争は人間の仕業です」という言葉で、初めて声を上げ始めたそうです。

こんなことがあったということ、そして、浦上の被差別部落とキリシタンの歴史… 皆さんは、

ご存じでしたか？

毎年8月6日から15日までの10日間は、「カトリック平和旬間」です。この時期に、平和と

はなにか、お話を聞き考えてみませんか。

(金子由美)

きょうかい み にちしき ろうそく
【教会ミニ知識】 ロウソク

がつ にち おこな けんしんしき ひせき
6月11日に行われた堅信式など秘跡
おおやけ さず み さ せいたいこうふくしき
を公に授けるとき、ミサ、聖体降福式、
そうしき きょうかい ぎしき ろうそく
葬式など教会の儀式のときにロウソクが
もち ろうそく せいめい こうみょう
用いられています。ロウソクは生命と光明
あた めし かみ しょうちょう きりすと
の与え主である神の象徴、またキリスト
けが からだ しょうちょう
の汚れのない体の象徴とされています。
きょうかい はつてん ろうそく
そのため教会の発展とともにロウソクの
じゅよう ぞうだい せいき いぎりす
需要は増大しましたが、19世紀にイギリス
ばらふいん ざいりょう ろうそく
でパラフィンを材料とするロウソクが
つく こうか とく じゅんすい みつろう
作られるまで高価でした。特に純粋な蜜蝋
みつばち ぶんびつ はち す ざいりょう
(ミツバチが分泌し、蜂の巣の材料)から
つく ろうそく ちんちょう ようほう
作られるロウソクは珍重され、養蜂は
じゅうよう さんぎょう
重要な産業となっていました。

ろうそく ほんすう しらはま
ロウソクの本数については、白浜
みつろしきょう ひろしまきょうく せいばうろしゅうどうかい
満司教(広島教区)が聖パウロ修道会
ほーむページ きりすときょうちえぶくろ
ホームページの「キリスト教知恵袋」
ねん がつ にち つぎ せつめい
(2021年3月2日)で次のように説明して
います。

かとりっくきょうかい みさ ちつじょただ
カトリック教会では、ミサが秩序正しく
てきせつ おこな みさてんれいしよ
適切に行われるよう、ミサ典礼書に
したが さいぎ おこな
従ってその祭儀が行われることになってい
みさてんれいしよ ぶぶん
ます。このミサ典礼書のはじめの部分に、
みさ おこな さい しゅじゅ き
ミサを行う際の種々の決まりをまとめた
そうそく けいさい 1969ねん4がつ
総則が掲載されています。一九六九年四月
3にち こうふ げんこう みさてんれいしよ そうそく
三日に公布された現行のミサ典礼書の総則
ほんすう つぎ
(79)に、ろうそくの本数について、次のよ
き み さいだんじょう
うな決まりが見られます。「祭壇上もしくは



さいだん ちか すく 2ほん
祭壇の近くに、少なくとも二本、あるいは
4ほん 6ほん きょうく しきょう
四本もしくは六本、またはその教区の司教
ししき ばあい 7ほん ひ
が司式をする場合には七本、火をともしたろ
うそくを立てるものとする。」

みさ さい さいだんじょう ちか
ミサの際に祭壇上あるいはその近くに
お ほんすう きょうかい
置かれているろうそくの本数が、教会によ
こと ばあい 2 4 6
って異なる場合があるのは、二、四、六とい
ぐうすう ほんすう きょうく しきょう
う偶数の本数、そしてその教区の司教が
ししき ばあい 7ほん
司式をする場合には七本のろうそくを
もち たようせい みと
用いることができるという多様性を認めた、
じょうき みさてんれいしよ そうそく もと
上記のミサ典礼書の総則に基づくものです。
もっと おお ななほん ほんすう
最も多い七本というろうそくの本数は、
よはね もくしろく しょう せつ もと
ヨハネの黙示録1章13節に基づいている
い かた こえ
と言われています。「わたしは、語りかける声
ぬし み ふ む ふ む
の主を見ようとして振り向いた。振り向くと、
7 きん しょくだい み しょくだい ちゅうおう
七つの金の燭台が見え、燭台の中央に
ひと こ かた きりすと
は、人の子のような方(=キリスト)がおら
よはね かみ しめ こうけい
れたと、ヨハネは神から示された光景を
か する きりすと
書き記しています。そのため、キリストの

だいにりしゃ さいこう めぐ けんげん
代理者として最高の恵みと権限を
ゆだ きょうく しきょう ししき
委ねられている、その教区の司教が司式を
ばあい 7ほん いがい
する場合には七本、それ以外のときには、よ
すく かず 2 4 6 ぐうすう ほんすう
り少ない数で二、四、六という偶数の本数が
きてい 2 4 6 かず
規定されています。これら(二、四、六)の数
なに とくべつ いみ こ
には、何か特別な意味が込められていると
さゆう ばらんす
いうわけではなく、左右のバランスのためであ
おも
ると思われます。
てんれい おこな ばしょ しゅうどういん
典礼が行われるための場所は、修道院
ちい せいどう しょうきょうく きょうかいどう
などの小さな聖堂や小教区の教会堂、

しきょう ちゅうしん きょうく しい じょさい
また司教を中心として教区の司祭、助祭、
おおぜい しんと つど きょうざせいどう
大勢の信徒が集うことがある司教座聖堂
かてどらる ひろ
(カテドラル)であったりして、その広さには
たようせい せっち さいだん
多様性があり、またそこに設置される祭壇の
おお こと みさ
大きさも異なってきます。そのためミサ
てんれいしょ そうそく きょうかいどう
典礼書の総則は、それぞれの教会堂
せいどう ひろ さいだん おお おう
(聖堂)の広さや祭壇の大きさに応じて
てきおう さいだんじょう ちか
適応できるよう、祭壇上あるいはその近く
お ほんすう はば も
に置かれるろうそくの本数に幅を持たせて
いるのです。
みかさ に ゆー す へんしゅういん かわしまみちお
(「三笠ニュース」編集委員 川嶋理夫)

お む か た め こ こ ろ え
老いを迎える為の心得

こう し じゆにんかいごしえんせんもんいん
講 師 : 主任介護支援専門委員
かいごふくしし まるやま みちこ
介護福祉士 丸山 径子

かい じょう かとりっくみかさきょうかいせいどう
会 場 : カトリック三笠教会聖堂
にち じ がつ にち にち
日 時 : 9月 24日(日)

こうえんかい
11:00~12:00 講演会

しつぎおうどう
12:00~12:30 質疑応答

こうし かこ けいしょく しゅうかいしつ
講師を囲んで軽食(集会室)

しゆさい かとりっくみかさきょうかいいんかい
主催:カトリック三笠教会委員会
たんどう みかさきょうかいほうもんかつどう かい
担当:三笠教会訪問活動の会